

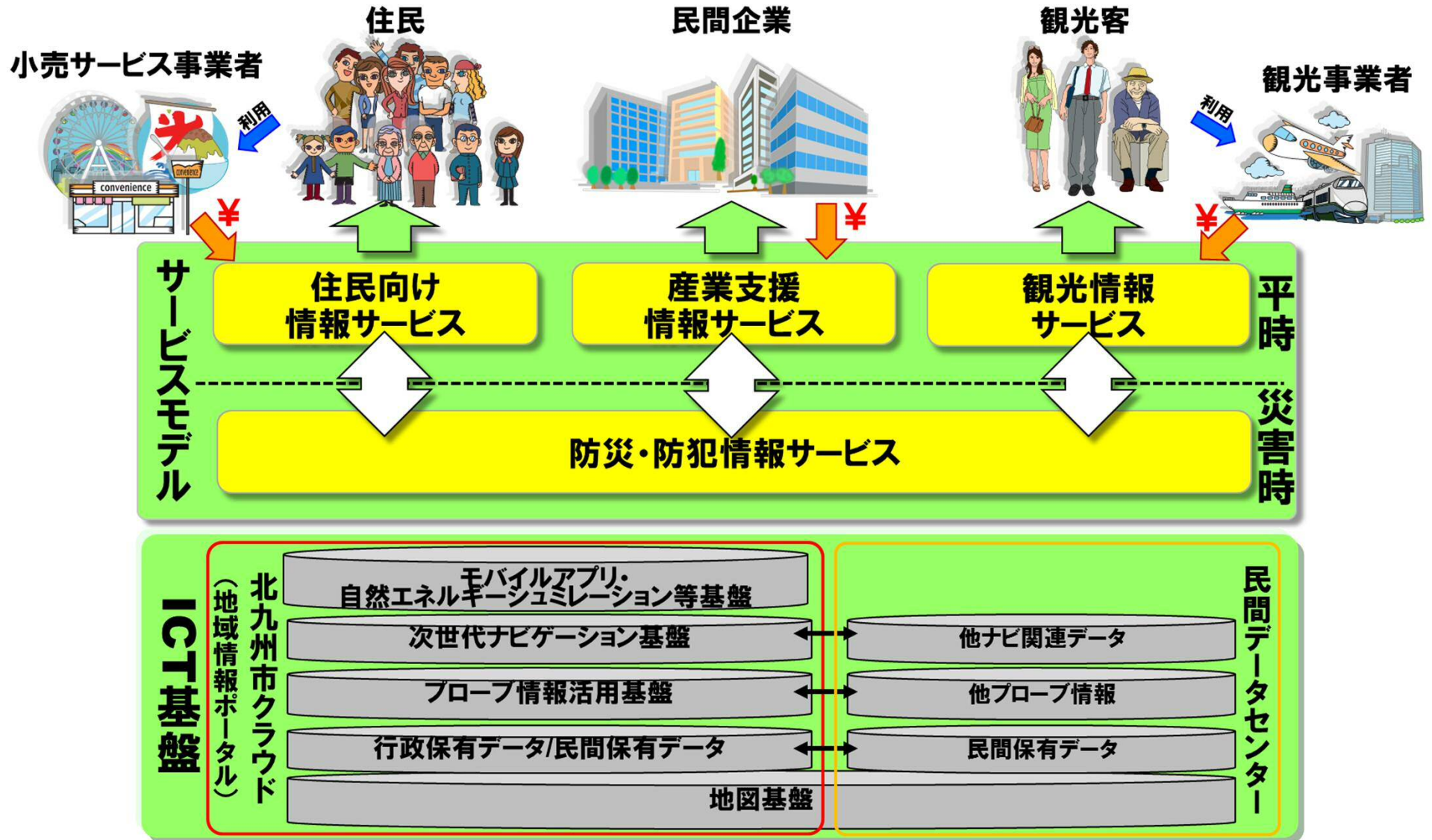
第8回 GIS広域勉強会

北九州市総務企画局情報政策室

塩田 淳

- 1 地域情報ポータルサイトの状況**
 - 2 地域情報ポータルサイトと連動した地域情報誌**
 - 3 住民連携型GISとモバイル端末による調査を実現する技術**
 - 4 住民連携型GISとモバイル端末を利用した災害対策本部のデモ**
 - 5 共同利用のメニューと費用**
-

1-1 地域情報ポータルサイトでのサービス展開



1-2 KRIPPと(株)ゼンリンとの協定

～「地図のまち(都)北九州！」を目指して～

- KRIPP**
- 北九州市
 - 行橋市
 - 直方市
 - 苅田町
 - 香春町



協定締結

- (株)ゼンリン**

- 行政保有データの提供
- 北九州市クラウド環境の提供
- IT関連企業へGIS技術のフィードバック
- 地域情報ポータルサイトのPR

- 地域情報ポータルサイトの構築運用
- サイト上での各種サービスの展開
- IT関連企業へGIS技術のフィードバック
- 地域情報ポータルサイトのPR

地域情報ポータルサイト

住民向け
情報サービス

観光
情報サービス

産業支援
情報サービス

防災・防犯情報
サービス

連携

平時

災害時

BIG DATA

大学 企業 KRIPP 参加自治体 北九州市 行橋市 苅田町 直方市 香春町

生活情報 / フォロー情報 / 行政情報 / 民間情報 / ユーザープロフィール / イベント情報 / 観光情報 etc

北九州市クラウド



広告収入



サービス利用料

民間投資による
持続可能な体制

小売サービス事業者



民間企業



観光事業者



4-1 共同利用するGISの構成

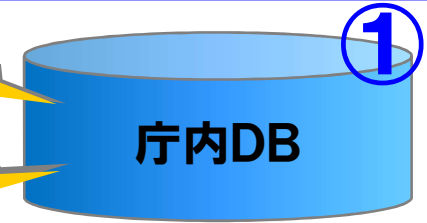
庁内向けGIS

- 見た目は、統合型GIS
- データを一元管理
- メタデータ、クリアリングハウスを整備

Web

C/S

スタンドアロン



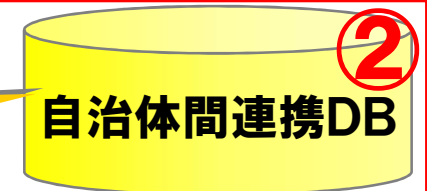
自治体間で
公開できるデータ



自治体間連携GIS

- 地図を繋げることで広域課題の課題を解決
- メタデータ、クリアリングハウスを整備

Web



住民に公開できる
データ



住民連携型GIS

- 広域で情報発信
- メタデータ、クリアリングハウスを整備

Web



モバイルアプリ

4-2 メニューと費用

項番	メニュー名	メニュー内容
1	メニュー①	<ul style="list-style-type: none"> ①ArcGISサイトライセンス(無制限ライセンス)費用 ②ゼンリン住宅地図費用(同時接続6ライセンス) ③ビジネスV-LAN(フレッツVPN)費用 ④北九州市クラウド使用料(自治体間連携・住民連携のみ) ⑤GISセンター(データアップロード費用のみ)使用料 ⑥モバイルアプリ
2	メニュー②	<ul style="list-style-type: none"> ①ArcGIS Onlineライセンス、ArcViewライセンス(1ライセンス)費用 ②ゼンリン住宅地図費用(同時接続6ライセンス) ③ビジネスV-LAN(フレッツVPN)費用 ④北九州市クラウド使用料(自治体間連携・住民連携のみ) ⑤GISセンター(データアップロード費用のみ)使用料 ⑥モバイルアプリ

項番	人口規模	メニュー①	メニュー②
1	~5万人未満	約200万円	約110万円
2	5万人以上10万人未満	約370万円	約160万円
3	10万人以上	要相談	要相談

※初期費用は別途必要になります。